

磁気データ 瞬時に消去

情報漏洩が社会問題となる中、パソコンの磁気データを一瞬で完全消去する装置を環境ベンチャー企業「リ・バース」(川崎市川崎区)が開発した。本業はパソコンのリサイクル。希少金属を効率的に回収する流れを、との思いが装置を生んだ。4、5日に開かれる「川崎国際環境技術展2010」に出展する。(三木 崇)

リ・バース (川崎市川崎区)

装置 開発 リサイクル容易に

開発した装置「イレイザー」は、ハードディスク(HD)に強い磁力を照射して瞬時にデータを消去する。従来の磁気消去装置は水平磁気記録方式のHDしか対応しないが、イレイザーは特許申請中の技術により最新の垂直式にも対応する。処理能力は1時間に240回。標準モデルは55万円と、他社製品の半値程度に抑えた。



パソコンを大量廃棄する際の課題はデータ消去。ソフトを使う方法は時間がかかる。物理破壊はデータが部分的に復旧される可能性があるほか、リサイクルが難しくなる。イレイザーを2009年4月に発売すると、システム開発会社や大学などから受注が相

次いだ。「ヨドバシカメラPC DOCK」にも納品され、一部店舗で消去サービスが始まった。

09年度の「川崎ものづくりブランド」に認定された。認定社長としては最年少となる生田篤識社長(30)は、前身の環境調査会社「日中環境エンジニアリング」を05年に中国の大学教授と設立。日系工場から出る産業廃棄物の処理過程を調べる事業が礎となり「データ保全と資源活用」の両面で喫緊の課題となっているパソコンリサイクルに取り組みことにした」という。

11年以降はメモリ類向けのデータ消去装置に挑む。04年にアジア起業塾のプレセミ

最新式HDにも対応

ナーに参加して国際的に視野が広がった。アジア出身の仲間から刺激を受けながら、川崎から世界に挑戦したい

「川崎国際環境技術展2010」は川崎市中原区のとどろきアリーナで開かれる。入場無料。リ・バースなどが出展する「NPO法人アジア起業家村推進機構」ブースではアジア起業塾の参加者を募集する。

◆リ・バース 2005年設立。従業員6人。資本金1千万円。川崎市川崎区境町8の19。044(210)1770。

磁気データ消去装置「イレイザー」を手にする生田社長
川崎市川崎区

